

# 高次脳機能障害学

講師 畑添 涼  
Ryo Hatazoe

## 現在の研究テーマと内容

「高齢の難聴と認知機能低下の関連性」「高次脳機能障害者の就労支援」「高次脳機能障害の発現メカニズム」を主要テーマに掲げ、臨床現場との連携を重視した実践的な研究を進めています。難聴と認知機能低下に関する研究は、精神科のみならず耳鼻咽喉科や補聴器関連企業との共同研究を行っています。就労支援に関する研究は、熊本県高次脳機能障害支援センターや就労支援施設と連携して、実践的支援モデルの構築に取り組んでおります。また、高次脳機能障害の発現メカニズムについては、症例報告を中心に研究を進めています。

## これまでの研究成果と今後の展開

難聴と認知機能低下に関する研究は、大学院博士課程におけるテーマであり、現在はデータ収集に取り組んでいる段階です。難聴がコミュニケーションを含む認知機能に及ぼす影響を明らかにすることができれば、予防や改善に向けた研究に発展させたいと考えています。また、就労支援に関する研究は、科学研究費助成事業に採択され、数例の介入とともに経時的なデータ収集を行っています。高次脳機能障害を呈する方の就労適応を効果的にする情報を明らかにし、情報共有の仕組みづくりへの寄与を目指したいと考えています。さらに、高次脳機能障害の症例研究では、従来報告されていなかった新たな症例の提示や訓練効果の発表にも至っております。引き続き、新たな発見ができるように、臨床活動も主体的に実施していきたいと考えています。

## 大学院を目指すみなさんへメッセージ

日々の臨床の中で疑問を感じていること、この疑問を研究という形で客観視することは、リハビリテーション業界を発展させることに重要となります。まだ臨床の中で十分な疑問を抱くことができていない方でも、研究を学ぶことで、疑問の持ち方を身に着けることができると思います。研究に興味のある方は是非、熊本保健科学大学大学院で学びを深めてみてください。